

祖父母交流で笹巻作り(ふたば保育園ぞう組)



第2回 定例会

6/5～10

- 工夫が足りない **地方創生** P2
- 町の考えを問う **5議員が一般質問** P5
- 行政調査レポート **自然と調和の町 綾町** P10
- 追跡 あれはどうなった!** P11
- シリーズ 笑顔のIターン** P12

シリーズ えがお 笑顔のIターン

次年子地区 ひろみち
高橋 廣道 さん



滋賀県の信楽で陶器のお風呂をつくっていたが、大石田町の陶芸家の記事を見て大石田町へ。

4年前に滋賀県から大石田町の次年子地区に移り住み、次年子窯を構える。

住まい兼工房は、旧次年子小学校の校舎を改装して使用。

次年子でがんばる小学生1人のお父さんです。



作品のスチームパンクバス

大石田町へ来たきっかけは
焼き物の原材料の土が無尽蔵にあること、旧次年子小学校が大石田町の中に溶け込み素晴らしい風景だった。
住んでみてどうですか
陶器風呂は大きな工房が必要なので、焼き物には最高の環境だし、大自然の生活は魅力的で楽しいです。
大石田温泉の猫バスが好評だが
使う人が喜んでもら

えるのは最高の幸せです。大石田の土を使った商品開発をもっと続けたいです。
次年子窯での交流は
異業種間の交流は楽しいし、出会いと新たな発見もあり、素晴らしいです。
これからの抱負など
次年子窯を拠点に、各種の交流イベントを開催し、全国に発信し楽しい仲間をドンドン増やしたい。



大好きな円形校舎と

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は
9月2日(水)～11日(金)の予定です。
お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118

編集後記

「地方創生」という言葉がかまびすしい。当町にかぎらず全国自治体で頭をひねっているのではなからうか。模範解答がコンサルタントや大学教授だとすればどこも同じようになる危うさを感じる。都市部へ人材を供給してきた地方へは各種税金を減額するのが過疎や人口減少対策の特効薬になるとも思うのだが、そうした施策を国はうてない。トップダウンの政策ではなく、地方自治体が自ら目標を掲げ、それに向けた取り組みを国がサポートするポトムアップ型の「地域再生」が求められていると思うのだが。
(記 村形)

- 広報常任委員会 ■
- 委員長 小林 征雄
- 副委員長 村形 昌一
- 委員 村岡 藤弥
- 委員 遠藤 宏司
- 委員 芳賀 清